

2023 年度 自己点検・自己評価報告書

報告日：2024 年 3 月 31 日

広島製菓専門学校

本校の自己点検・自己評価項目は「専修学校における学校評価ガイドライン」及び「専門学校等評価基準 Ver.4」に示されている評価項目を参考にした広島製菓専門学校の項目と同内容で作成されたものである。

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日

調査対象：広島製菓専門学校 教職員 9名

評価方法：4件法（4：適切，3：やや適切，2：やや不適切，1：不適切）

(1, 教育理念:目標の設定等)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	3.0
2 学校における職業教育の特色は定められているか。	3.1
3 社会経済のニーズ等をふまえた学校の将来構想を抱いているか。	2.8
4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者に周知されているか。	2.7
5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	2.7

【自由記述】

① 課題

- 問1 挨拶ができていない生徒がいる。
- 問2 実際の現場ではない。
- 問3 物価高、人口減少化等で、伸びる要素が見つげにくい。
- 問4 校長から学生、保証人に説明する機会がない。
〃 周知されていないから、遅刻欠席が多い。
- 問5 生産性の向上が目標の上位にない。

② 今後の改善方策

- 問1 できるまで指導する。
- 問2 実際の現場の様子を伝える。
- 問3 どうしたら生き残れるか考える。
- 問4 学生には研修等で話をする機会があるが、保証人向けの機会はこれから検討していく。
〃 遅刻欠席がなくなるように細かく指導する。
- 問5 生産性の向上を意識させる。

(2, 学校運営)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 目的等に沿った運営方針がされているか。	2.7
2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか。	2.9
3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	2.3
4 人事、給与に関する制度は整備されているか	2.1
5 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	2.9
6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2.9
7 教育活動に関する情報公開が適切にされているか	3.3
8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.4

【自由記述】

① 課題

問 1 外部講師を呼ぶ前に基本的な挨拶等の勉強を進める事が必要。

問 2 長い休みの後、実技レベルが落ちている。

問 3 規則にグレーゾーンがある。

問 4-1 明確な基準が分からない。

問 4-2 教員の人数不足を感じる。

問 4-3 給与も、コマ数を出張授業が増えているので、準備等もあるので、つけるべきだと感じる。(2人)

問 4-4 常勤職員不足、残業手当はなく、休日出勤してもなかなか代わりの休みも取れない。

問 5 臨時講師の意見を聞く機会が少ない。

問 7 保証人が理解していない時がある。

問 8 パソコンの不具合が少なくない。

② 今後の改善方策。

問 1 待遇の外部講師に来てもらう。

問 2 自主練メニューの見直し。今年度中に着手し、改善でき次第実施する。

問 3 グレーゾーンを明確に。

問 4-1 数字で明確に。

問 4-3 出張授業のコマ数見直し。

問 4-4 常勤職員の求人募集をしてほしい。

問 5 臨時講師の意見を聞く機会を作る。

問 7 ホームページにはシラバスや教員の実務経験等を開示しており、LINE 等での発信も行っている。

今後 LINE 等の発信する機会を増やす。

(3, 教育活動)

評価せ項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.0
2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.0
3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	3.1
4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方針の工夫・開発などが実施されているか。	3.0
5 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等の連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	2.8
6 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3.1
7 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3.0
8 授業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2.3
9 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	3.6
10 資格取得の指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	3.1
11 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	2.3
12 関連分野における業界等の連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか。	2.8
13 関連分野における先端的な知識、技能等を取得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。	2.4
14 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	2.0

【自由記述】

① 課題

問 1 挨拶等、基本的な教育。

問 2 長い休みの間にレベルが落ちている。

問 3 課題が少ない。

問 4 企業研修に行けない場合がある。

〃 「販売」機会が少ない。

問 5 必要ないものもある。

問 6 企業研修に行けない場合がある。

- 問 11 特にできない生徒に寄り添う。
// 心の問題などに対し、専門知識を有した職員がいない。
// 人手不足
- 問 12 専門技術の前に、接遇教育。
問 13 組織的な訓練はない。
問 14 現状は機会がない。

② 今後の改善方策

- 問 1 できるまで指導する。
問 2 自主練メニューの見直し。
問 3 試験問題を増やす。
問 4 企業研修に全員参加の体制を作る。
// 地域のイベント等に参加する機会を増やす。
問 5 必要のないものはやめる。
問 6 学生が全員企業研修に参加するように指導する。
問 7 前期、後期と分けてもよい。
問 8 できない学生は個別に指導。
問 10 授業で指導していただいている。
// 全員合格を目指し、補習授業があってもいい。
→ 一部の試験対策では行っているが、全部ではないため今後検討していく。
問 11 アシスタントの先生に、できない学生に時間を割いてもらう。
// スクールカウンセラーなど、専門知識のある方に来ていただく。
問 12 サービス接遇教育の講師に来てもらう。
問 13 組織的な研修があってもいい。
問 14 あってもいいのではないか

(4, 学修成果)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 就職率の向上が図られているか。	3.3
2 資格取得率の向上が図られているか。	3.0
3 退学率の低減が図られているか。	2.6
4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.9
5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.7

【自由記述】

①課題

- 問1 意思が伝わりにくい。
- 問2 全員合格していない。
- 問3 いきなり退学する学生がいる。
- 問4 分からない学生もいる。
- 問5 把握しきれしていない。

②今後の改善策

- 問1 面談の回数を増やす。
- 問2 補習授業があってもいい。→一部の科目では行っているが、不足であれば補っていく。
- 問3 コミュニケーションを増やす。
- 問4 連絡を取る。
- 問5 卒業生の実態調査を行えるようにしたい。
→ 昨年度より卒業生の就職先にアンケートをお願いし、把握に努めている。

(5、学生支援)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.0
2 学生相談に関する支援体制は整備されているか。	2.6
3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	3.2
4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	2.1
5 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	2.8
6 学生の生活環境への支援は行われているか。	2.6
7 保護者と適切に連携しているか。	3.0
8 卒業生への支援体制はあるか。	2.6
9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.8
10 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。	2.8

【自由記述】

①課題

問1 通常業務と就職指導の兼務をおこなっており、現状では難しい。

// 就職情報を見逃しがち。

問 2-1 相談してこない。

問 2-2 学生が相談しづらい環境であると思う。

問 2-3 第三者が話を聞くことも必要と感じる。

問6 全員にしていない。

問7 保証人が現状を理解しきれていない場合がある。

問 9 パソコンの授業が必要なのではないか。

問 10 連携はない。

②今後の改善策

問1 教務、就職部を分ける。

// 情報を随時確認し、学生に直接伝える。

問 2-1 コミュニケーションをとる。

問 2-2 直接、相談できる体制を作る。

問 2-3 スクールカウンセラーなどの設置。

問5 勧める。

問 7 改善策を保護者と話し合う。

// 職員間での連携が必要。

問7 連絡するタイミングのアドバイスと、実行。

→ 連絡は電話と文書でとっているが、伝わりにくいこともあるため、状況を見て面談を行う。

問9 パソコンの授業があってもいい。

問10 連携していく。

(6. 教育環境)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	2.7
2 学内外の実習施設、インターシップ、海外研修について整備されているか。	3.1
3 防災に対する体制は整備されているか。	3.3

【自由記述】

①課題

問1 設備はあるが、厨房機器の劣化、買い替え検討がされていない。

// エアコン内部やバルコニー清掃など、要所で専門業者の清掃が必要だと思われる。

// 現場に必須なものがない。逆に過剰にあるものがある。

問2 海外研修は実施されていない。

// インターシップへの体制は整備されているが、希望者が少ない。

問2 災害時の保証人への連絡方法が未整備。

②今後の改善策

問1 製パンの職場に設置されているドウコンの設置を望む。スパイラルミキサーは多くある。

// バルコニーの清掃は、専門業者に依頼済み、4月に実施。エアコンは未定。

問2 海外研修は、昨年度も計画したが、希望人数に至らず中止となった。新年度は実施予定。

// インターシップの希望者を増やすよう指導する。

問3 昨年度は災害に備えての防災訓練を実施。今年度も実施予定。

// 災害発生に備えて、学園として、インターネット上の連絡網を整備中。新年度より実施予定。

(7, 学生の受け入れ募集)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 学生の募集活動は適正に行われているか。	3.4
2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.1
3 学納金は妥当なものとなっているか。	3.0

【自由記述】

①課題

問1 2回目のオープンキャンパスに来てもらう。

問2 成果の説明はやや不十分。

問3 実習の原材料費が上がっている。

②今後の改善策

問1 もう一度来たくなるオープンキャンパスを実施するため、調整を続けている。

問2 高校への出張授業を行い、実習職員から伝える機会もあるが、教育成果の説明を増やすように努める。

問3 材料費を考慮し、無駄が出ないようにしていく。

(8, 財務)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	2.3
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	2.4
3 財務について会計監査が適正に行われているか。	3.3
4 財務情報公開の体制整備はできているか。	2.9

【自由記述】

①課題

問1、問2 削れるものはあるのではないか。

問3、問4 よくわからない。

②今後の改善策

問1、問2 費用対効果を考える。

問3、問4 よくわからない。

(9, 法令等の遵守)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 法令、専修学校基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.5
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.0
3 自己評価の実態と問題点の改善に努めているか。	2.6
4 自己評価結果を公開しているか。	3.3

【自由記述】

①課題

問3 問題解決に時間がかかる。

②今後の改善策

問2 シュレツダー活用等、継続する。

問3 問題研解決に期限を設ける。

問4 毎年ホームページにて公開している。

(10, 社会貢献・地域貢献)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	2.8
2 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。	2.3
3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)を行っているか。	2.3

【自由記述】

①課題

問1 日程等、条件が合いにくい

問2 支援はしていない。

問3 実施していない。

②今後の改善策

問1 地元の企業や団体に講習会での会場提供等を行っている。回数が増えるように対応していく。

問2 学生のボランティア活動を把握できていない。支援できる体制を作る。

問3 現況では予定していない。

(11, 国際交流)

評価項目	教職員 平均値(適切:4, ほぼ適切:3やや不適切:2, 不適切:1)
1 留学生の受け入れ、派遣について戦略をもって国際交流を行っているか。	2.3
2 受け入れ・派遣・在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	3.3
3 学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか。	2.8
4 国内外で評価を受けるよう、学内で適切な体制が整備されているか。	2.5

①課題

問1 積極的ではない。

問2 機会がない。

問4 コンテストの参加が希望者のみである。

②今後の改善策

問1 積極的に行う。

問2 適切な手続きを取る。

問3 学生の積極的なコンテストへの参加を促すことで、成果を上げている。

問4 全員参加型を目指す。